

旋 網 漁 場 調 査

安 源 之 允

I 結 論

本調査は本県近海、即ち犬吠崎より金華山に至る距岸60哩以内の黒潮本流又は分流によつて北上するカツオ、メジ、サバ、ブリ、イワシ等本県中小型施網船の漁獲対象とする魚族の北上群の経路及び海況の消長を調査し、本県施網漁船の漁獲向上、漁場の開発につとめ実施したものである。

II 方 法

黒潮本流の流路、黒潮本流より張り出す沿岸北上分枝の消長、親潮系水の張り出し等を調査し海況の状態より調査海域を定め魚群の発見に努めた。

- (イ) 使用船 平和茨城丸 57ト 180HP
- (ロ) 調査時期 昭和35年5月12日～昭和35年6月7日
- (ハ) 調査海域 野島崎～金華山東近海
- (ニ) 調査項目
 - (1) 測温採水 0m 25m 50m 100m 200m
 - (2) 見張り調査

III 調 査 結 果

第1次調査

海 況

表面 黒潮の流れは野島崎近海よりNEに流れ犬吠近海に接近した後進路をNEにとり塩屋崎東の東経145度に達していた。今調査時においても犬吠東では20℃～21℃水帯がみられ一部は分枝となつてNWに伸び本県北部に接近していた。又親潮系水帯は塩屋崎沿岸部より磯崎沿岸部に達し黒潮流との間に顕著な潮境を形成していた。

下層 下層水温も表面同様な水温分布を示していたが200m層では東近海よりSEに流れる親潮系水がみられ、このため犬吠崎東30哩付近では水温差が顕著であつた

魚群発見状況

魚群発見状況は別図の通りであり、即ち大原東において(水温19℃～15℃)サバ又はイワシ群らしい魚探反応がみられ又この沖合水温19℃～20℃台でカツオトリ付浮上群を発見した。

第2次調査

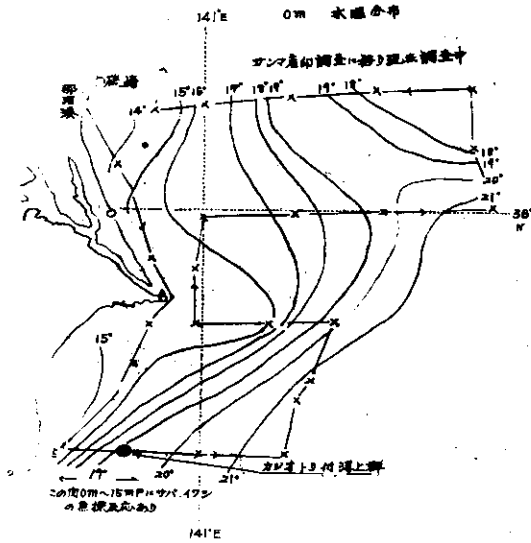
海況

表面 親潮の流れは極く沿岸沿いに本県沿岸に流入し東経146度以西では全般に低温水帯の分布をみた。黒潮の流れは犬吠崎沖よりNE~NNEに流れている模様であつて20℃先端部と思われる水帯は塩屋崎沖合の東経143度北緯37度付近にあつて全般に黒潮勢力は沿岸よりに接岸の兆がみられた。

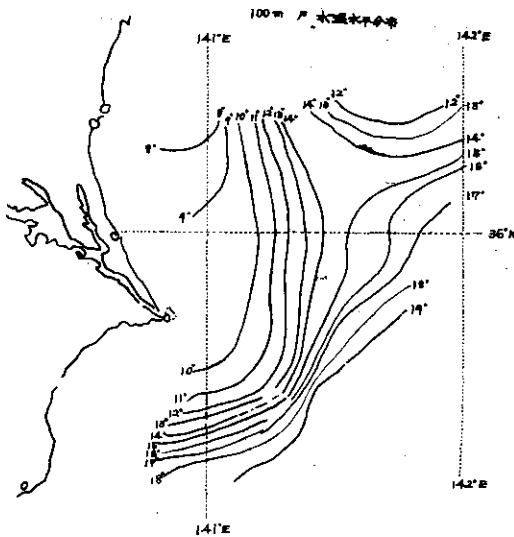
下層水温 下層の水温分布は親潮系冷水が金華山近海よりSEに向うものがみられ東経143度北緯37度海域で黒潮北上流との間に顕著な潮境を形成していた。

魚群発見位置

5月23日 東経142度40分~43分北緯37度、水温18.9℃付近~潮目ENE~WSWに張る海域でメジトリ付鯛持大中群4~5 5月24日東経141度42分北緯36度24分水温15.0℃トリ付メジ小群(鯛持の模様であつた。)又東経141度23分~31分北緯36度24分水温16.9~17.7℃メジハネ小群



第1図 0m 水温分布
サンマ産卵調査に移り現在調査中



第2図 100m層水温水平分布

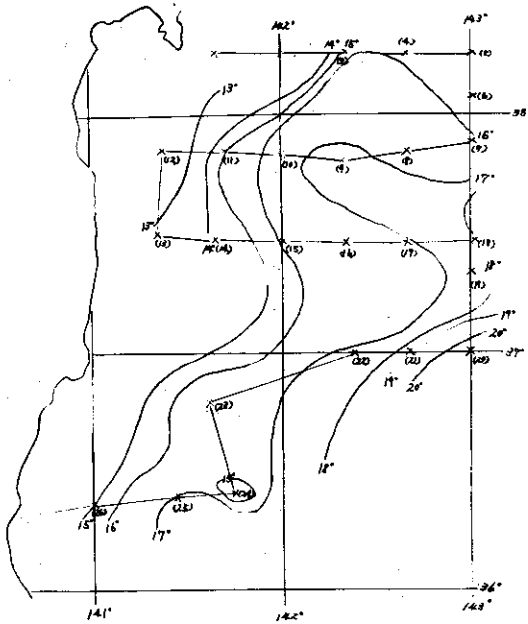
第3次調査

海況

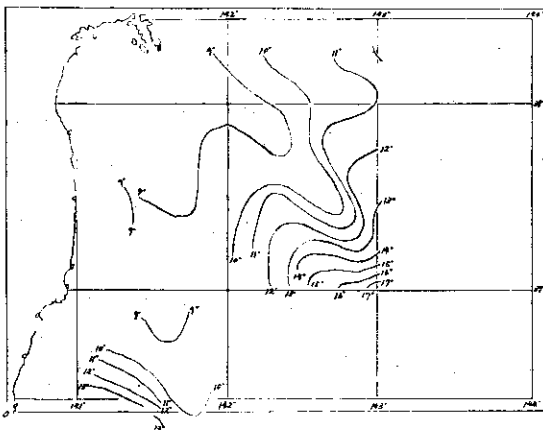
表面 親潮の流れは第2次調査時と同様な傾向をみせていた。即ち金華山近海より沿岸沿いに南下する親潮系冷水は本県中部に達し又黒潮の流れは犬吠崎東沖よりNNEに流れ沿岸南下親潮系水との間に顕著な潮境を形成していた。下層水温、100m層及び200m層における水温分布は金華山近海よりSEに流れるものと本県沿岸より沖合に張り出す低温水がみられ、又黒潮の流れは表面同様東経142度30分付近に北上流がみられており200m層で21℃の測温がみられる。

魚群発見位置

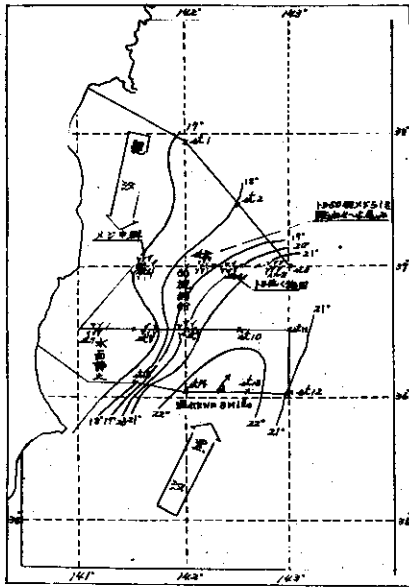
6月4日 東経142度10分北緯37度水温18.3℃、トリ50羽水面旋回又は静止メジらしき跳ね群みるも魚種不明、東経142度58分～55分北緯37度00分水温18.3～2.18℃トリ30羽イルカ付低く旋回、東経141度34分北緯37度水温18.0℃トリ300羽広く散在、水面低く旋回又は突入メジ群(中)跳ねをみる。



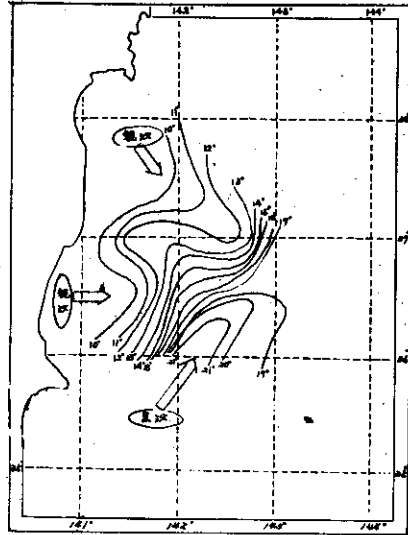
第3図 0m層及び調査軌跡



第4図 100m層水温水平分布



第5図 0m水温分布



第6図 100m水温水平分布

第4次調査

海況

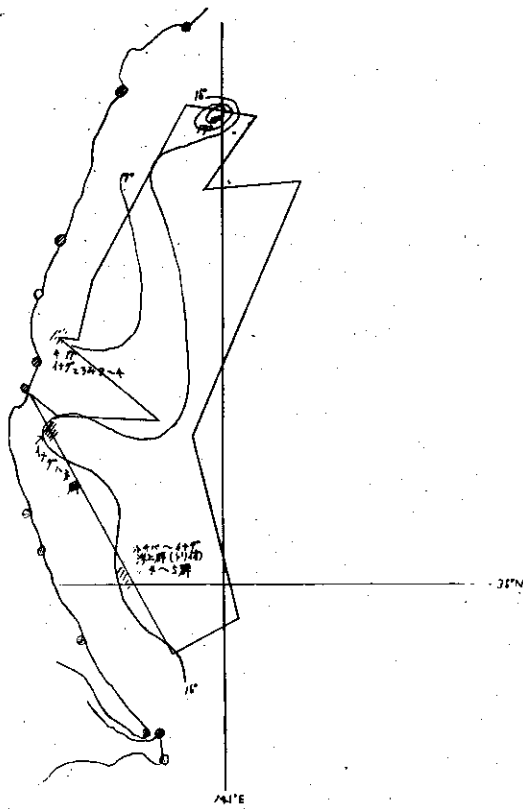
表面 大津沖には沿岸暖水と思われる水帯がみられ、この海域は表面18℃台の測温がみられた。又磯崎沿岸より大津沿岸にかけては沿岸暖水の分布がみられ、この沖側には15℃台の水帯となつていてこの調査海域の流れはS/W 1哩の測流がみられた。

下層水温分布は(25m層)13℃水帯が細長く沿岸沿いに伸びてこの東西間には12℃以下の冷水がみられた。

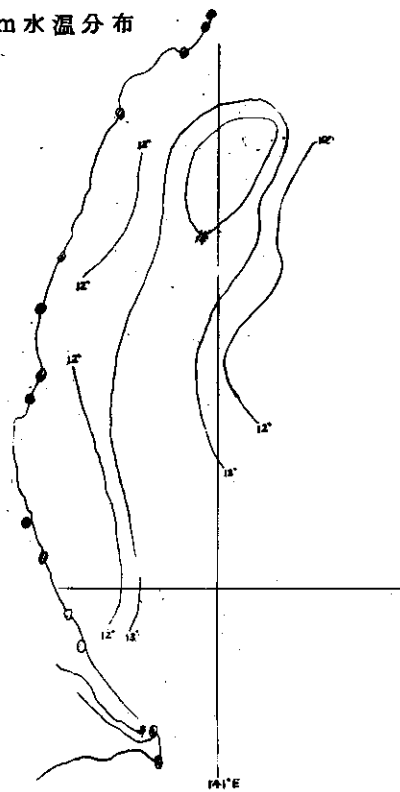
魚群発見位置

磯崎沿岸の水温17℃台においてイナダトロミ3~4群付近にマンボ1発見、那珂湊南南東でイナダハネ1群、鹿島灘明石沖水温16℃海域において小サバ又はイナダトリ付浮上群4~5群。

以上本年度は沿岸近海合せて4航海施網漁業を対象とした魚群の発見、本県近海のその時期における海況の究明に努めた。尚魚群発見、海況等はその都度超短波無線150MCで各船向け報告した。



第7图 0 m水温分布



第8图 2.5 m水温分布